中部地方

名前

問1　茶の生産量に関する二〇一四年の統計データによると、全国一位の静岡県（39.6%）に次いで、全国第二位（29.4%）の生産量を占める九州地方の都道府県はどこですか。（2017年 高知県公立入試 類似）

1. 熊本県
2. 宮崎県
3. 福岡県
4. 鹿児島県

問2　日本海に面する福井県の鯖江市では、特定の製品の製造が地場産業として発達し、国内シェアの約9割を占めています。この地域で特に生産が盛んな製品はどれですか。（2021年 三重県公立入試 類似）

1. 眼鏡のフレーム
2. 輪島塗の漆器
3. 陶磁器（瀬戸物）
4. 真珠の養殖

問3　東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから
2. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから
3. 製品の鮮度を維持する必要があり、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから
4. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから

問4　北陸地方の気候と産業の特色について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2017年 高知県公立入試 類似）

1. 冬の降水量が非常に多く積雪が見られるため、農閑期の副業として伝統的工芸品の製造が発達した。
2. 季節風の影響を避けるために、石垣や防風林で囲まれた家々での精密機械工業が発達した。
3. 一年中降水量が少なく乾燥しているため、伝統的にため池を活用した綿花栽培が盛んに行われた。
4. 冬は乾燥して晴天の日が多いため、広大な土地を利用した太陽光発電が主な産業となっている。

問5　北陸地方の気候的特色と伝統産業について述べた文として、正しいものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 新潟県では、冬季の積雪により農業ができない期間の副業として、小千谷ちぢみなどの繊維産業が発達した。
2. 北陸地方は一年中温暖で降水量が少ないため、古くから大規模な綿花の栽培が行われ、手織りの技術が発展した。
3. 石川県では、夏に乾燥する気候を利用して、輪島塗などの漆器を屋外で乾燥させる作業が伝統的に行われてきた。
4. 北陸地方の伝統産業は、主に海外から輸入した原料を冬の間に加工して、再び海外へ輸出する形態から始まった。

問6　石川県で生産される加賀友禅や、新潟県燕市・三条市の金属製品のように、特定の地域において古くからの伝統や原材料、技術などを活かして発展し、現在もその地域の経済を支えている産業を何と呼びますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 地場産業
2. 重化学工業
3. 先端技術産業
4. 知識集約型産業

問7　川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してできた水はけの悪い低地となっている。
2. 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。
3. 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並ぶ工業地域となった。
4. 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。

問8　日本全図において中部地方に位置し、鉄道の営業距離が約710kmに及ぶこの都道府県の産業と交通の特色について述べた文として、適切なものはどれですか。この県では、内陸の山地は南北方向に、沿岸部では東西方向に鉄道が走っています。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 沿岸部には造船業や鉄鋼業が立地しており、東海道新幹線の駅が県内に5つ設置されている。
2. 沿岸部では繊維工業や陶磁器工業が盛んであり、東海道新幹線の路線は内陸の山地を南北に縦断している。
3. 沿岸部には大規模な石油コンビナートが集中しており、東海道新幹線の駅は県庁所在地のみに設置されている。
4. 内陸の山地では輸出向けの自動車産業が発達しており、すべての鉄道網が山地を東西に横断するように敷設されている。

問9　愛知県瀬戸市は、鎌倉時代から続く伝統的な工芸品の産地として知られています。この地域で生産される、良質な粘土を原料とした「瀬戸焼」などの工芸品を総称して何と呼びますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 織物
2. 鉄器
3. 陶磁器
4. 漆器

問10　中京工業地帯の歴史的な産業構造の変化と現在の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 宮城県公立入試 類似）

1. かつては造船業が盛んであったが、現在は内陸部での食料品工業や電子部品の生産が中心となっている。
2. かつては繊維工業が盛んであったが、現在は自動車などの輸送用機械の生産が中心となっている。
3. かつては京浜工業地帯と並ぶ印刷・出版業の拠点であったが、現在は石油化学コンビナートが中心となっている。
4. かつては官営の製鉄所を中心に鉄鋼業が発展したが、現在はIC（集積回路）の生産が中心となっている。

問11　中部地方の地形の特徴を説明した文章として、飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈の3つの山脈の関係性が正しく述べられているものを選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 東北地方から続く奥羽山脈が長野県に入ると、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つに枝分かれする。
2. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つを合わせて日本アルプスと呼び、長野県を囲むように位置している。
3. 飛騨山脈と越後山脈の間に赤石山脈が位置しており、これらは北アルプスと呼ばれている。
4. 木曽山脈と赤石山脈は関東地方に位置し、飛騨山脈だけが長野県に位置している。

問12　長野県などの中央高地では、標高が高い地域の冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの生産が盛んに行われています。平地の出荷時期が過ぎた夏から秋にかけて出荷時期を遅らせるこの栽培方法の名称として、最も適切なものを選択してください。（2021年 高知県公立入試 類似）

1. 二毛作
2. 抑制栽培
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問13　長野県において、果実や高原野菜の栽培が盛んに行われ、高い農業産出額を維持している理由として、自然条件と農業の工夫の観点から最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）

1. 標高が高く夏でも冷涼な気候や、水はけの良い扇状地などの傾斜地を活用しているから
2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、冬の時期に野菜を出荷する促成栽培が中心だから
3. 広大な平野部と年間を通じた多雨な気候を利用し、大規模な機械化による稲作を行っているから
4. 干拓によって得られた低湿地を改良し、都市部向けの近郊農業として野菜栽培に特化しているから

問14　ある都道府県の統計データにおいて、年平均気温が16.5度、年降水量が2324.9mmと温暖多雨な気候を示し、農業産出額の上位品目に「茶」と「みかん」の両方が含まれている都道府県はどこですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 静岡県
2. 宮崎県
3. 長野県
4. 宮城県